

令和3年度「免許更新制高度化のための調査研究事業」結果概要

1. 調査目的

本調査研究では、現職教師の教員免許更新講習や現職研修に関する認識等を把握するため、現職教師を対象としてアンケート調査を実施した。

調査対象：全国の現職教師

調査方法：インターネットによる抽出調査（あらかじめ登録されたモニター会員）

調査時期：令和3年4月28日（水）～5月11日（月）

回収状況：2,108名

調査実施機関：みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社

※回答者の属性（n=2,108）

- ・ 性別 男性64.9%、女性35.1%
- ・ 年齢 ※報告書参照
- ・ 勤務先学校種 幼稚園 3.9%、小学校 29.2%、中学校 23.6%、
高等学校 36.2%、特別支援学校 7.1%
- ・ 学校設置区分 公立 82.3%、国立 1.1%、私立 16.6%
- ・ 勤務先所在地（都道府県） ※報告書参照
- ・ 更新講習の受講時期

平成21～23年度	8.1%
平成24～27年度	25.1%
平成28～令和元年度	53.7%
令和2年度～	13.0%

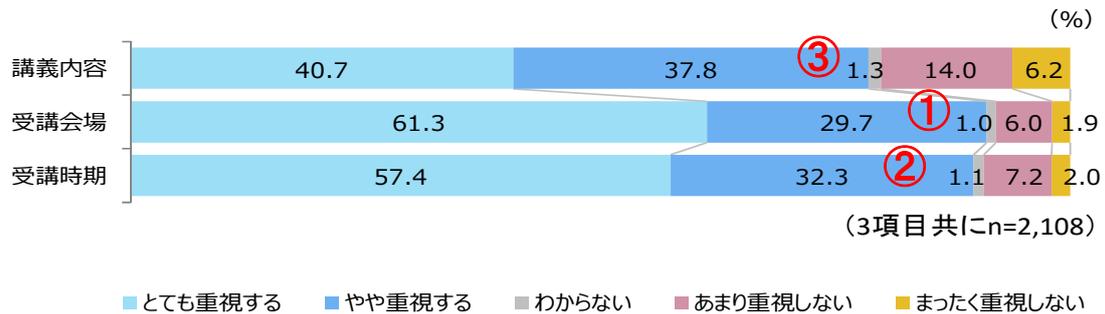
《調査結果の主なポイント》

- 教員免許状更新講習を受講するにあたって重視する点は、高い順に「受講会場」「受講時期」そして「受講内容」となっており、講習を選ぶにあたり、受講しやすい時期・場所で開催されているものを選択する傾向が高い。
- 受講した講義内容の満足度は、受講直後では「満足」「やや満足」が過半数(57.9%)を占め、「最新の知識・技能を習得できる内容であったか」については、過半数(52.6%)が「そう思う」「ややそう思う」と感じているものの、受講内容が現在の教育現場で「役立っている」「やや役立っている」との回答は3割程度(33.4%)と低い。
- 総合的な満足度は、「不満」が4割近く(39.0%)と最も高く、「やや不満」(19.5%)を含めると6割弱(58.5%)と過半数を占める一方、「満足」「やや満足」の合計は2割弱(19.1%)。
具体的には、講習そのものの時間数(30時間)の負担感と総合満足度の低さが最も相関しており、満足度低下の一因となっている可能性が高い。次いで、受講費用に対する負担感および業務との兼ね合いについて総合的な満足度で相関が高くなっている。

2. 調査結果概要

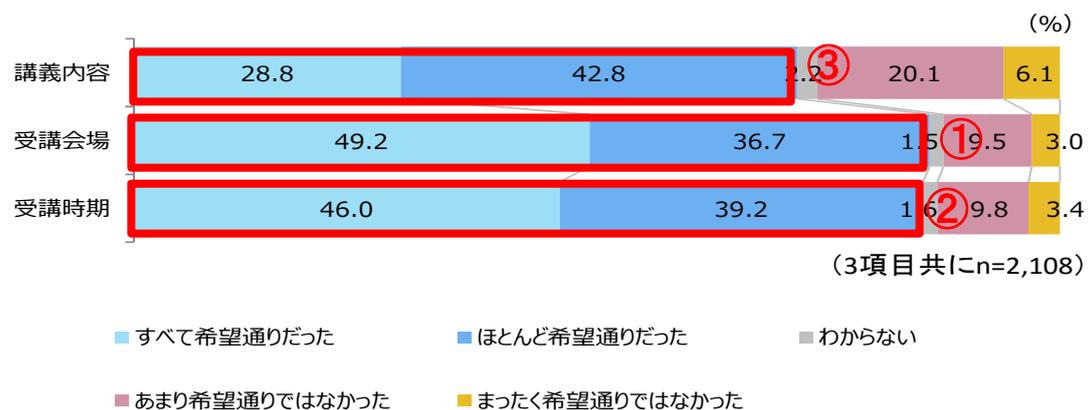
(1) 更新講習について

① 受講する講習を選ぶにあたって重視する点



- ✓ 受講する講習を選ぶにあたって「講義内容」「受講会場」「受講時期」をそれぞれの程度重視するかを尋ねたところ、「とても重視する」の割合が高い順に「受講会場」(61.3%)、「受講時期」(57.4%)、「講義内容」(40.7%)となった。
- ✓ 講習を選ぶにあたり、受講しやすい場所で開催されているものを優先的に選択し、続いて都合に合う時期に開催されているかを重視する一方で、講義内容の重要度は場所と時期と比較して劣後しているものと考えられる。

② 希望する講習の受講状況



- ✓ 「講義内容」「受講会場」「受講時期」について自身の希望に沿っていたかを尋ねたところ、「受講会場」と「受講時期」については、「すべて希望通り」「ほとんど希望通り」の合計が 8 割を超えている一方、「講義内容」については「あまり希望通りではなかった」と「まったく希望通りではなかった」の合計が他の 2 項目と比較して高くなっている。

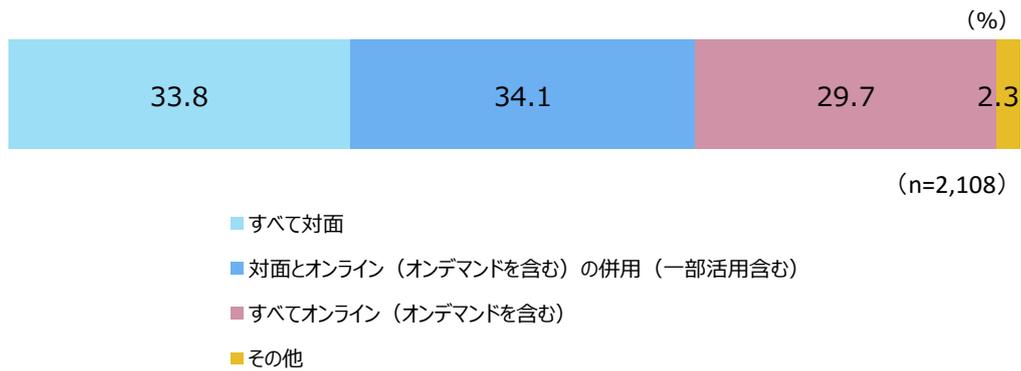
③ 希望どおり受講できなかった理由(上位3項目)

順位	回答分類	回答数	回答割合
1	講義の内容が期待していたものではなかった	422	34.1%
2	人数制限により希望の講習が受講できなかった(抽選含む)	279	22.5%
3	場所等の関係で講習の選択肢が少なかった	177	14.3%

(注) 回答割合を算出するための分母(1,238)には、無回答及び「なし」「特になし」等の回答を含まない。

- ✓ 最も回答が多かった「講義の内容が期待していたものではなかった」(422 件、34.1%)では、自由回答として、「内容が求めているものとかけ離れていた」、「実務とあまり関係のない内容も多かった」、「当たり前の内容が多く、より深い内容について勉強したかった」などのコメントが見られた。

④ 希望する受講方法



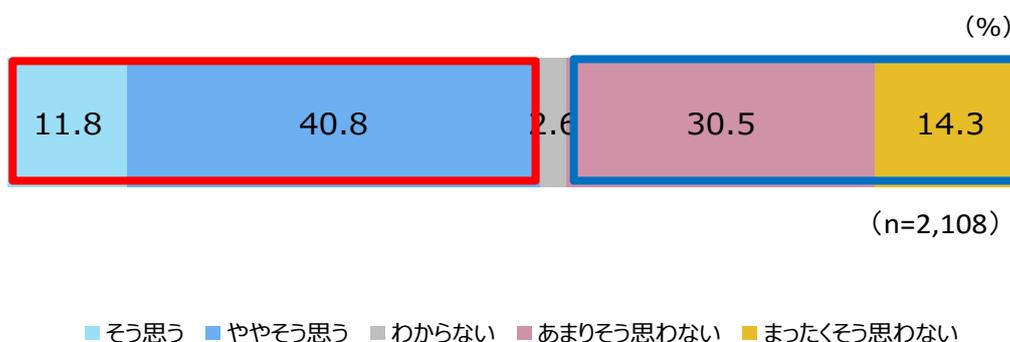
- ✓ 希望する受講方法については、「対面とオンライン(オンデマンドを含む)の併用(一部活用含む)」が 34.1%、「すべて対面」が 33.8%、「すべてオンライン(オンデマンドを含む)」が 29.7%と、それぞれがほぼ同程度の回答となった。
- ✓ 属性別では、「50 歳以上 55 歳未満」を除き、年齢が高い回答者ほど「すべて対面」での講習を希望する傾向がある。

⑤ 受講した講習内容の満足度(受講直後の感想)



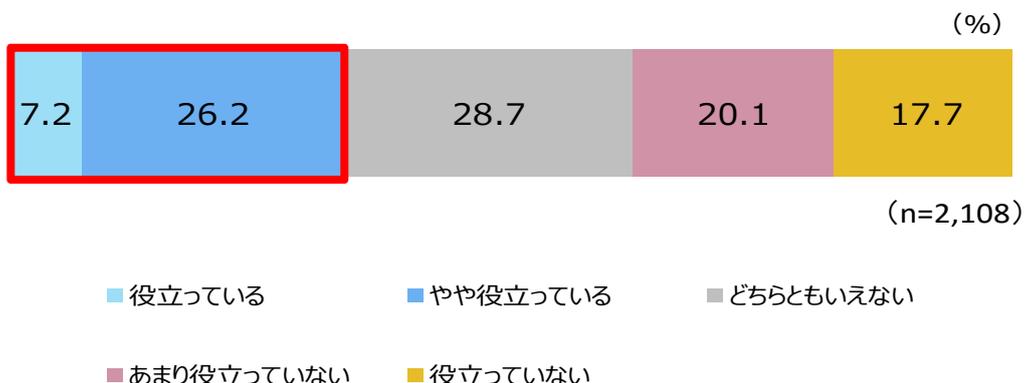
- ✓ 受講した講習の受講直後の内容面に限った満足度は、「満足」と「やや満足」の合計が 57.9%と過半を占めており、「不満」および「やや不満」はそれぞれ 8.1%、8.0%と低い。

⑥ 受講した講習は、最新の知識・技能を修得できる内容であったか



- ✓ 受講した講習が最新の知識・技能を修得できる内容であったかどうかについて、全体では、「そう思う」「ややそう思う」が 52.6%と過半を占め、「あまりそう思わない」「思わない」は 44.8%となった。

⑦ 受講した講習が現在の教育現場で役に立っているか



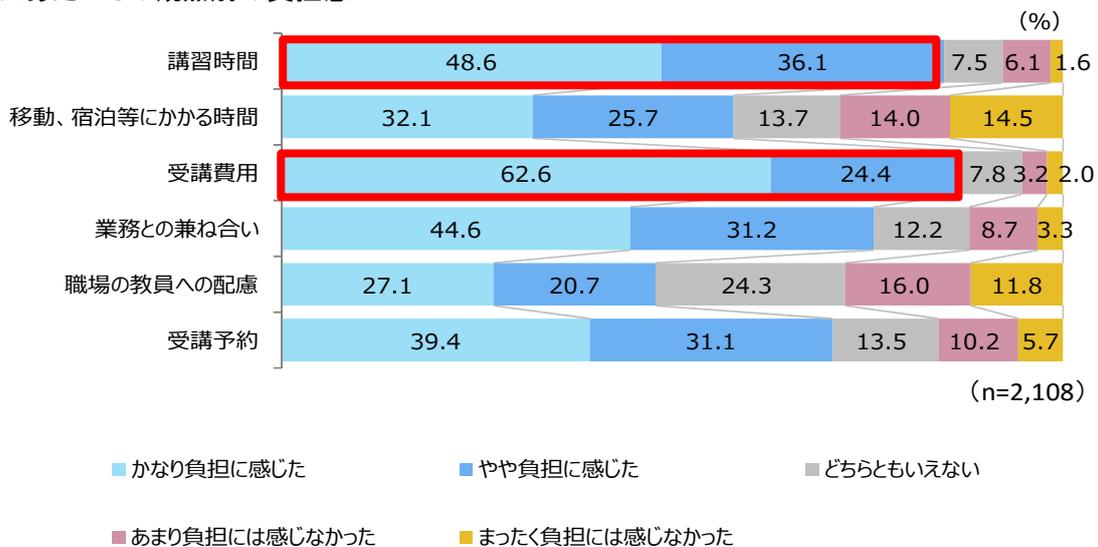
- ✓ 受講した講習が現在の教育現場で役に立っているかどうかについて、全体では、「役立っている」「やや役立っている」と「どちらともいえない」、「あまり役立っていない」、「役立っていない」の 3 区分がそれぞれ 3 割前後と分散している。

⑧ 教育現場で役立っていないと感じる理由(上位3項目)

講習内容が普段の業務で役立っていないと感じる理由について、自由記述形式の任意回答で尋ね、結果を複数回答形式で分類・集計したものは以下のとおりである。

順位	回答分類	回答数	回答割合
1	現実との乖離があり、実践的な内容でないため	399	52.3%
2	希望した講義ではなかった・義務感で受講したため	102	13.4%
3	情報が古い・既知っている内容だったため	84	11.0%

⑨ 受講にあたっての観点別の負担感



- ✓ 受講にあたっての負担感について「講習時間」、「移動・宿泊等にかかる時間」、「受講費用」、「業務との兼ね合い」、「職場の教員への配慮」、「受講予約」の6つの観点でその度合いを尋ねたところ、「講習時間」および「受講費用」で特に負担感が大きく、「講習時間」では全体の84.7%が、「受講費用」では87.0%が「かなり負担に感じた」、「やや負担に感じた」と回答している。

⑩ 55歳時における免許状更新講習の受講負担



- ✓ 55歳時における免許状更新講習の受講負担が早期退職のきっかけになるかどうかを尋ねたところ、「はい(早期退職のきっかけとなると思う)」36.8%と「いいえ(早期退職のきっかけとは関係ない)」39.7%が同程度となった。

⑪ 免許状更新講習の総合的な満足度



- ✓ 全体では、「不満」が 39.0%と最も高く、「やや不満」も 19.5%と高い。これらネガティブな回答の合計が 58.5%と過半を占めている。一方で「満足」「やや満足」の合計は 19.1%にとどまる。

<総合的な満足度と他の設問の相関分析>

【記号の意味】
 ** 1%水準で有意。
 * 5%水準で有意。
 ・ 10%水準で有意。

質問	質問	選択肢	回答人数	スピアマン	
				相関係数	有意水準
Q17 免許状更新講習の総合的な満足度 (選択肢) 1. 満足 2. やや満足 3. どちらともいえない 4. やや不満 5. 不満	Q15.1 各観点での負担度合い(講習時間)		2108	-0.44	**
	Q15.2 各観点での負担度合い(移動、宿泊等にかかる時間)	1. かなり負担に感じた	2108	-0.28	**
	Q15.3 各観点での負担度合い(受講費用)	2. やや負担に感じた	2108	-0.40	**
	Q15.4 各観点での負担度合い(業務との兼ね合い)	3. どちらともいえない	2108	-0.40	**
	Q15.5 各観点での負担度合い(職場の教員への配慮)	4. あまり負担には感じなかった	2108	-0.28	**
	Q15.6 各観点での負担度合い(受講予約)	5. まったく負担には感じなかった	2108	-0.33	**
	Q4.1 受講する講習を選ぶにあたって重視する点(講義内容)	1. とても重視する	2108	0.17	**
	Q4.2 受講する講習を選ぶにあたって重視する点(受講会場)	2. やや重視する	2108	-0.10	**
	Q4.3 受講する講習を選ぶにあたって重視する点(受講時期)	3. わからない			
		4. あまり重視しない			
	Q5.1 あなたは希望通りの講習を受講できたか(講義内容)	5. まったく重視しない	2108	-0.07	**
	Q5.2 あなたは希望通りの講習を受講できたか(受講会場)	1. すべて希望通りだった	2108	0.25	**
	Q5.3 あなたは希望通りの講習を受講できたか(受講時期)	2. ほとんど希望通りだった	2108	0.08	**
3. わからない					
	4. あまり希望通りではなかった	2108	0.09	**	
	5. まったく希望通りではなかった				

※ 本分析で扱う変数はいずれも連続変数ではなく順序尺度を持つカテゴリ変数であることから、スピアマンの順位相関係数を採用。ただし、(一般的な)ピアソン係数で処理しても設問内の順位は不変となる。

- ✓ 講習そのものの時間数(30 時間)の負担感と総合満足度の低さが最も相関しており、満足度低下の一因となっている可能性が高い。
- ✓ 次いで、受講費用に対する負担感および業務との兼ね合いについて相関が高くなっている。
- ✓ その他、「講義内容が希望通りではなかった」と回答した者ほど総合満足度が低くなっており、満足度の向上にあたっては内容面のいっそうの充実が図られる必要性がある。

⑫ 教員免許更新制全般に対する自由意見 (上位5項目)

順位	回答分類	回答数	回答割合
1	制度自体を廃止すべき・免許更新制度に意義を感じない	853	50.4%
2	受講料の支出(交通費含む)が負担・受講料が高い	335	19.8%
3	多忙の要因・負担増の要因(現場での負担増も含む)	140	8.3%
4	時間・肉体的・精神的な負担(費用以外)	115	6.8%
5	講義内容の充実化	92	5.4%

(注) 回答割合を算出するための分母(1,693)には、無回答及び「なし」「特になし」等の回答を含まない。

(2) 現職研修について

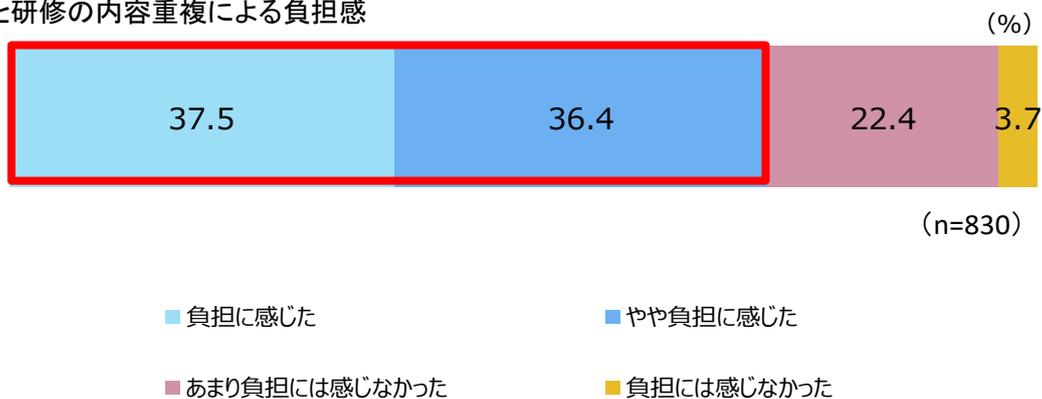
① 講習と研修の内容重複の有無



- ✓ 相互認定講習(※)を除き、免許状更新講習と現職研修(中堅研(10年次研修)やキャリアアップ研修等)の内容に重複があったかを尋ねたところ、全体では、「ほとんど重複していた」は8.8%、「一部重複していた」(33.1%)となった。

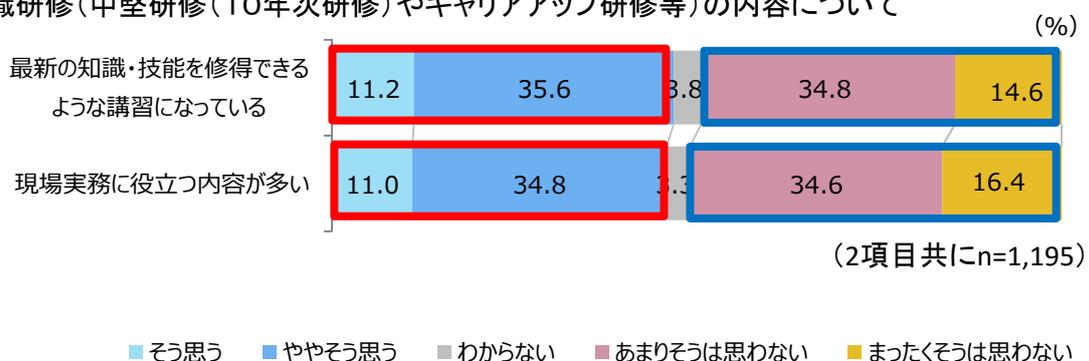
※免許状更新講習として認定を受けた現職研修の講習科目

② 講習と研修の内容重複による負担感



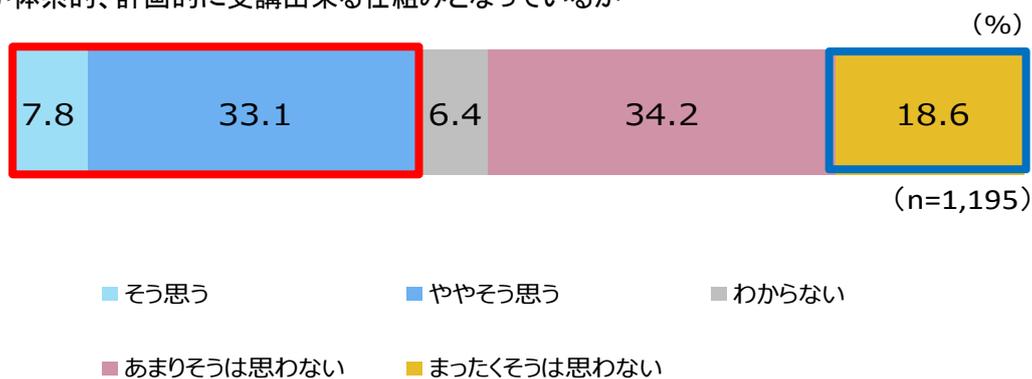
- ✓ 前問で「ほとんど重複していた」(8.8%)、「一部重複していた」(33.1%)、「あまり重複はなかった」(27.6%)と回答した人に、内容重複による負担感を尋ねたところ、全体では、「負担に感じた」(37.5%)と「やや負担に感じた」(36.4%)が高く、講習と研修の内容面の重複が負担感につながっている可能性がある。

③ 現職研修(中堅研修(10年次研修)やキャリアアップ研修等)の内容について



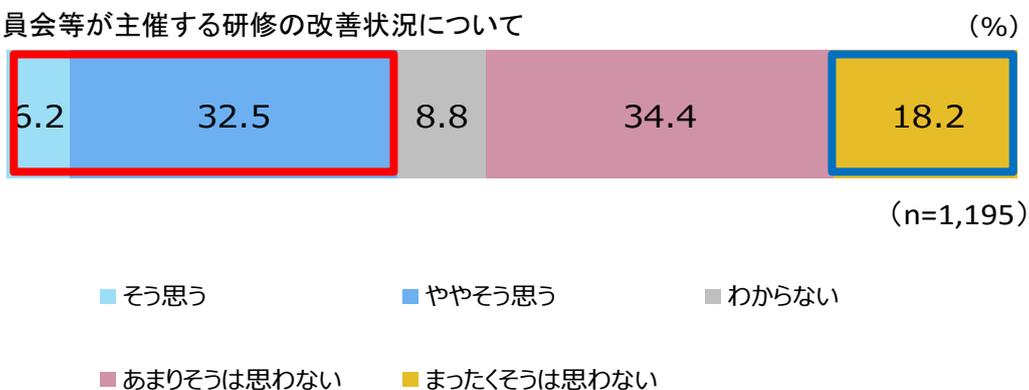
- ✓ 現職研修について、最新の知識・技能を修得できるような講習になっているかどうかについては、「そう思う」「ややそう思う」と「あまりそうは思わない」「まったくそうは思わない」がそれぞれ半数程度を占めている。ただし、都道府県別にはバラつきがある。
- ✓ 現場実務に役立つ内容が多いかどうかについても回答分布は上記と同様となっている。

④ 研修が体系的、計画的に受講出来る仕組みとなっているか



- ✓ 教育委員会等(私立の場合は学校法人等)が主催する研修(キャリアアップ研修等)は体系的、計画的に受講出来る仕組みとなっているか尋ねたところ、全体の4割超が「そう思う」「ややそう思う」と回答している一方で、「まったくそうは思わない」も18.6%存在している。ただし、都道府県別にはバラつきがある。

⑤ 教育委員会等が主催する研修の改善状況について



- ✓ 教育委員会等が主催する研修の改善状況について、全体の4割弱が「そう思う」「ややそう思う」と回答している一方で、「まったくそうは思わない」も18.2%存在している。ただし、都道府県別にはバラつきがある。
- ✓ 前問(計画的、体系的に受講できる仕組みになっているか)と同様の回答分布となっている。